

舞鶴市廃棄物減量等推進審議会(第5期)第1回会議 摘録

【日時】平成31年1月22日(火) 午後1時30分～午後3時30分

【場所】市役所本館4階 議員協議会室

【出席委員】青山委員、内海委員、尾上委員、木谷委員、品田委員、田中委員、谷口委員、西山委員、丸山委員、森委員、山川委員
(12名中11名出席、有効に成立)

【事務局】市民文化環境部長 飯尾、環境対策室長 平野、生活環境課長 福田、清掃事務所長 橋本、リサイクルプラザ所長 村川、生活環境課主幹 田中

【傍聴者】1人

1. 開会

2. 市長挨拶

3. 委員紹介

4. 会長・副会長選任

(1) 会長

(西山委員) 第4期審議会に引き続き、山川委員にお願いしたい。

→ 一同承認。

(2) 副会長

(品田委員) 山川会長に一任してはどうか。

→ 一同承認。

(山川会長) 第4期に引き続き、青山委員と品田委員にお願いしたい。

→ 一同承認。

5. 議事(報告事項)

(1) 市の取り組みの進捗状況について

・①不燃ごみ7種9分別収集②小型家電等収集管理システム導入可能性調査③施設整備の状況及び今後の取り組み について事務局から説明した。

① 不燃ごみ7種9分別収集

【質疑応答】

(青山副会長) 不燃ごみの指定袋を市で作製する予定はあるか。

(福田課長) 不燃ごみの有料化と合わせて、今後審議会であらためて議論いただき、その内容を踏まえて必要性を検討する。

(青山副会長) 自治会代表者向け説明会でどのような質問や意見が出たのか。

(福田課長) 「無色透明な袋」の定義に関する質問や立ち番による指導対応、高齢者に対する分別の徹底に関する不安などの意見が多かった。

【委員の意見】

- (品田副会長) 将来を見据えて、ペットボトルをよく利用する学生向けの広報に力を入れてほしい。
- (内海委員) 個別の説明会については、自治会の事情に応じたきめ細かな対応をお願いしたい。
- (谷口委員) プラスチック製の包装・袋類の分別について、洗い、乾かすという手間を考えると、自分たちがどこまで協力できるのかを考えておられる人が多いと感じた。また、プラスチック容器包装類を出す時の「無色透明な袋」について、レジ袋の可否など様々な情報が混在して市民が混乱しているようにみえた。
- (木谷委員) モデル地区の高齢者には、プラスチック製の包装・袋類は可燃ごみという意識がまだ強く、よりわかりやすい周知を検討願いたい。
- (西山委員) 自治会長向けアンケートでは収集回数が現状のままでよいという意見が多いことに驚いた。

② 小型家電等収集管理システム導入可能性調査

【委員の意見】

- (森 委員) スーパーに設置した回収ボックスによるペットボトルやプラスチック容器包装類の回収率が高く、回収ボックスの撤去は非常に勿体ないと感じる。これまで利用されていた人が混乱しないように他のボックスへの誘導をお願いしたい。

③ 施設整備の状況及び今後の取り組み

【質疑応答】

- (品田副会長) 舞鶴市の資源化率が年々下がってきている要因はなにか。
- (福田課長) 市の分別回収以外の店頭回収の活用やペーパーレス化による古紙回収量の減少が要因として考えられるが、一方でリサイクルできると思われる紙ごみが可燃ごみとして排出されている部分も多いと考えており、紙ごみのリサイクルについて引き続き周知していく。

(2) ごみ減量・リサイクルをめぐる最近の動向について

- ・プラスチックごみや食品ロスの減量に向けた最近の動向を事務局から説明した。

【質疑応答】

- (丸山委員) 亀岡市でレジ袋が使用禁止になるが、舞鶴市はレジ袋の使用禁止や有料化について今後どのようにしていくイメージなのか。
- (福田課長) レジ袋の使用禁止等に関しては、国においてプラスチック循環資源戦略の策定を進めているところであり、今後の動向を注視し、検討していきたい。

【委員の意見】

- (丸山委員) SDGs に関する取り組みが国際的に進められており、舞鶴市が SDGs に関連した取り組みを積極的に行うことは、舞鶴市のブランド価値の向上に繋がると思う。
- (品田副会長) 市内の高校が SDGs に関する学習を進めており、学校と連携した取り組みを検討してみてはどうか。
- (青山副会長) 消費者任せのプラスチックごみの減量にならないよう、企業側の努力を促すような取り組みや企業との連携を検討してほしい。
- (山川会長) SDGs は一つの分野だけではなく福祉などの多様な分野と関連した目標であり、第4期審議会でも福祉の分野などと関連した意見が多く出していた。今期についても様々な視点からごみ減量に向けた議論を行いたい。

(了)